

3 まちづくりの方向性（たたき台）

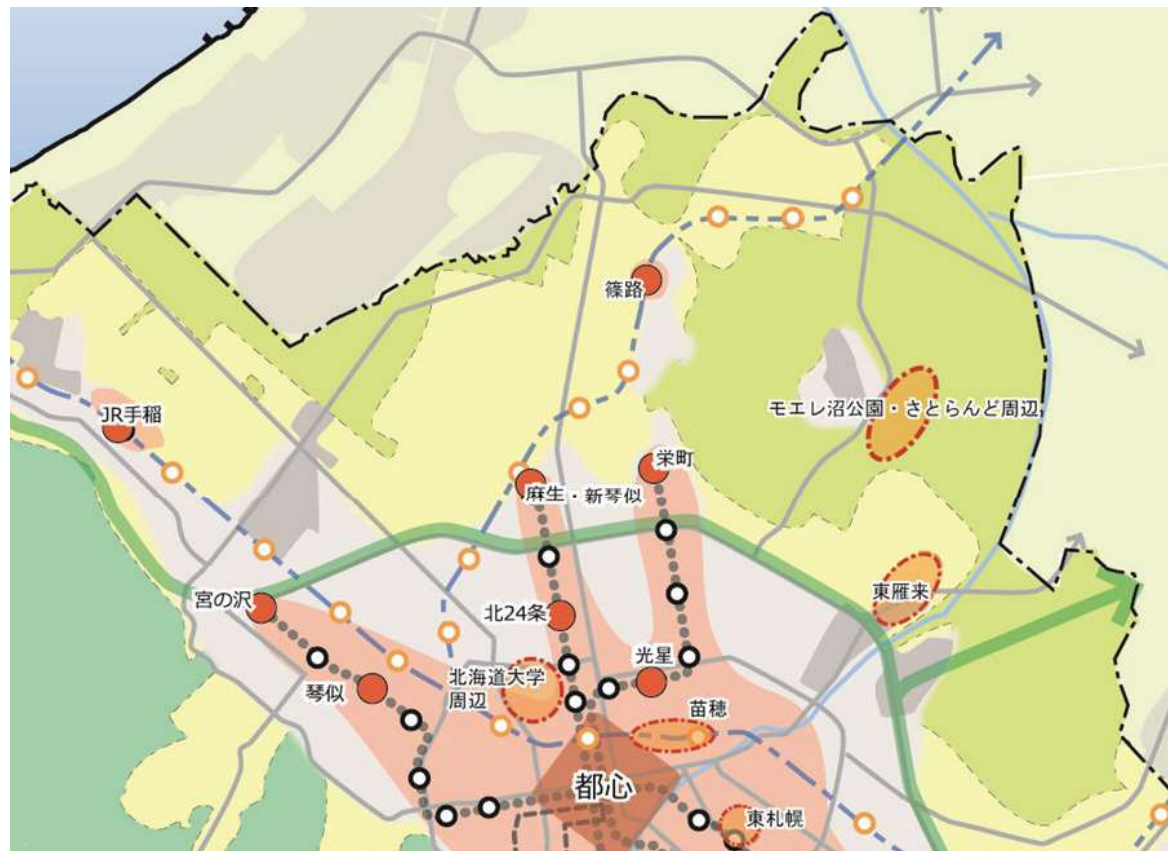
検討材料（札幌市の方針）

（1）上位計画での位置付け ～都市機能の集積

篠路駅周辺地区は札幌市まちづくり戦略ビジョンにて「地域交流拠点」に定められている。

地域交流拠点

交通結節点である主要な地下鉄・JR駅の周辺で、都市基盤の整備状況や機能集積の現況・動向などから、**地域の生活を支える主要な拠点としての役割を担う地域**のほか、区役所を中心に生活利便機能が集積するなどして区の拠点としての役割を担う地域



3 まちづくりの方向性（たたき台）

検討材料（札幌市の方針）

（2）公共施設に関する整備方針

札幌市市有建築物及びインフラ施設等の管理に関する基本的な方針（平成29年3月）

1 今後の取組方針

(1) 市有施設のさらなる長寿命化による事業費の削減

(2) 公共施設の複合化により、施設総量の抑制と機能維持を両立

・札幌市市有建築物の配置基本方針で重点的に検討する施設群の対象とされたまちづくりセンター、児童会館、地区センター等は、小学校や区民センター等の建て替えに時期に合わせて地域特性を考慮しながら複合化するため、保全や改築の時期を調整する

・一区一館など画一的な配置基準で整備を進めてきた施設は、主要な駅周辺をはじめとする地域交流拠点などへの集約化に向けて調整する

(3) 将来の人口に見合った公共施設の総量規模適正化

ウ その他公共施設

人口推計を踏まえ、人口に見合った規模へ適正化

3 まちづくりの方向性（たたき台）

検討材料（札幌市の方針）

（3）企業等の進出ニーズに関する調査

①篠路駅前に実現可能性のある機能（H29～R1実施）

※業種ごとに1・2社程度ヒアリング

	用途	ニーズ	土地活用の可能性
居住	分譲マンション	△	立地条件等による市場価格と建設費のバランスがとれなく、困難。
	高齢者向け住宅、老人ホーム	◎	ニーズが高く、可能性あり。
教育関連	保育園	×	300m 圏内に既存施設が立地しているため不可。
	学童クラブ	△	児童会館及びミニ児童会館以外での展開は困難。
	進学塾	△	意向なし。
商業	ドラッグストア	△	道路条件が好ましくないため、困難。
	スーパーマーケット	△	道路条件が好ましくないため、困難。
	物販店(大型)	△	道路条件が好ましくないため、困難。
	物販店(小型)	—	事業化の目途が不明であり、検討できない。
	飲食店	—	5年以上先であるため、検討できない。

3 まちづくりの方向性（たたき台）

検討材料（札幌市の方針）

（3）企業等の進出ニーズに関する調査

①篠路駅前の実現可能性のある機能（H29～R1実施）

	用途	ニーズ	土地活用の可能性
業務	金融機関	△	既存施設あり。
	業務施設	○	コールセンターは可能性があるが、賑わいを創出する機能としては不適切。
運動 娯 楽	スポーツクラブ	○	ジム及び子供のコンテンツについて可能性あり。
	フィットネスクラブ	○	条件があれば検討の余地あり。
	遊戯施設	△	意向なし。
そ の 他	医療施設	○	2科目+調剤薬局(150坪程度)であれば可能性あり。
	冠婚葬祭	△	意向なし。

篠路駅前への企業による進出ニーズは低い。一方で高齢者向け住宅等のニーズは高く、運動施設・小規模医療モールは可能性として考えられる。

3 まちづくりの方向性（たたき台）

検討材料（札幌市の方針）

（3）企業等の進出ニーズに関する調査

②市有地に実現可能性のある機能（H30～R1実施）

※業種ごとに1・2社程度ヒアリング

	用途	ニーズ	土地活用の可能性
居住	戸建て分譲	○	マンションは困難だが、戸建てとしては好立地。
	高齢者向け住宅、老人ホーム	△	クリニックや病院などとの複合事業であれば可能性あり。
教育関連	保育園	△	300m 圏内に既存施設が立地しているため不可。 大規模商業施設等が出来れば認可外保育園の設置検討は可。
	学校	△	若者が楽しめるなどまちの状況が変わり、条件があれば検討の余地あり。
商業	ホームセンター、家電量販店	○	規模的には可能性あり。
	大型物販店	△	規模的に難しいが、条件があれば検討の余地あり。
	ドラッグストア、コンビニ	○	可能性あり。

3 まちづくりの方向性（たたき台）

検討材料（札幌市の方針）

（3）企業等の進出ニーズに関する調査

②市有地に実現可能性のある機能（H30～R1実施）

	用途	ニーズ	土地活用の可能性
業務	倉庫	△	ニーズはあるが、賑わいを創出する機能としては不適切。
運動 娯楽	スポーツ施設・スポーツ 関連商業施設	○	スポーツなど、特徴的なものを誘致し外の人を呼び込むことは可能性あり。
	温浴施設	○	ニーズはあると思う。
	遊戯施設	△	意向なし。
その 他	医療施設	△	新規事業は見込めない。他の事業主体と複合であれば、検討の余地あり。
	福祉施設	△	条件があれば検討の余地はあるが、周辺に施設が立地済みのため考えにくい。

中規模の商業施設、レクリエーション施設などはニーズあり。また、人口増や若者が楽しめるまちになるなど、まちの条件が変われば選択肢が増える。

3 まちづくりの方向性（たたき台）

計画書の構成イメージ（再掲）

第1章 計画策定の背景

第2章 まちの現状について

- 人口や札幌市の中での篠路の位置付け
- 篠路駅周辺地区の施設や機能について

第3章 まちづくり方針

- 基本理念・将来像
- 篠路駅周辺地区のまちづくりの方向性
- まちづくり重点エリアの方向性
- 今後のまちづくりの展開
- 行政・企業・住民など各まちづくり関係者の役割

3 まちづくりの方向性（たたき台）

篠路駅周辺地区のまちづくり方針の要素案

これまでの検討結果や課題の分析等を踏まえ、まちづくりの方向性として「暮らし」に重点をおきつつ、その環境を若い世代・子育て世代・高齢者など多世代をターゲットにしながらより良くしていくことが考えられる。



【基本理念】

誰もが暮らしやすく
笑顔あふれるまち

【目指すまちの将来像】

- I 『暮らし』を支えるまち
- II 『つなぎ』を紡ぐまち
- III 『魅力』を創造するまち

3 まちづくりの方向性（たたき台）

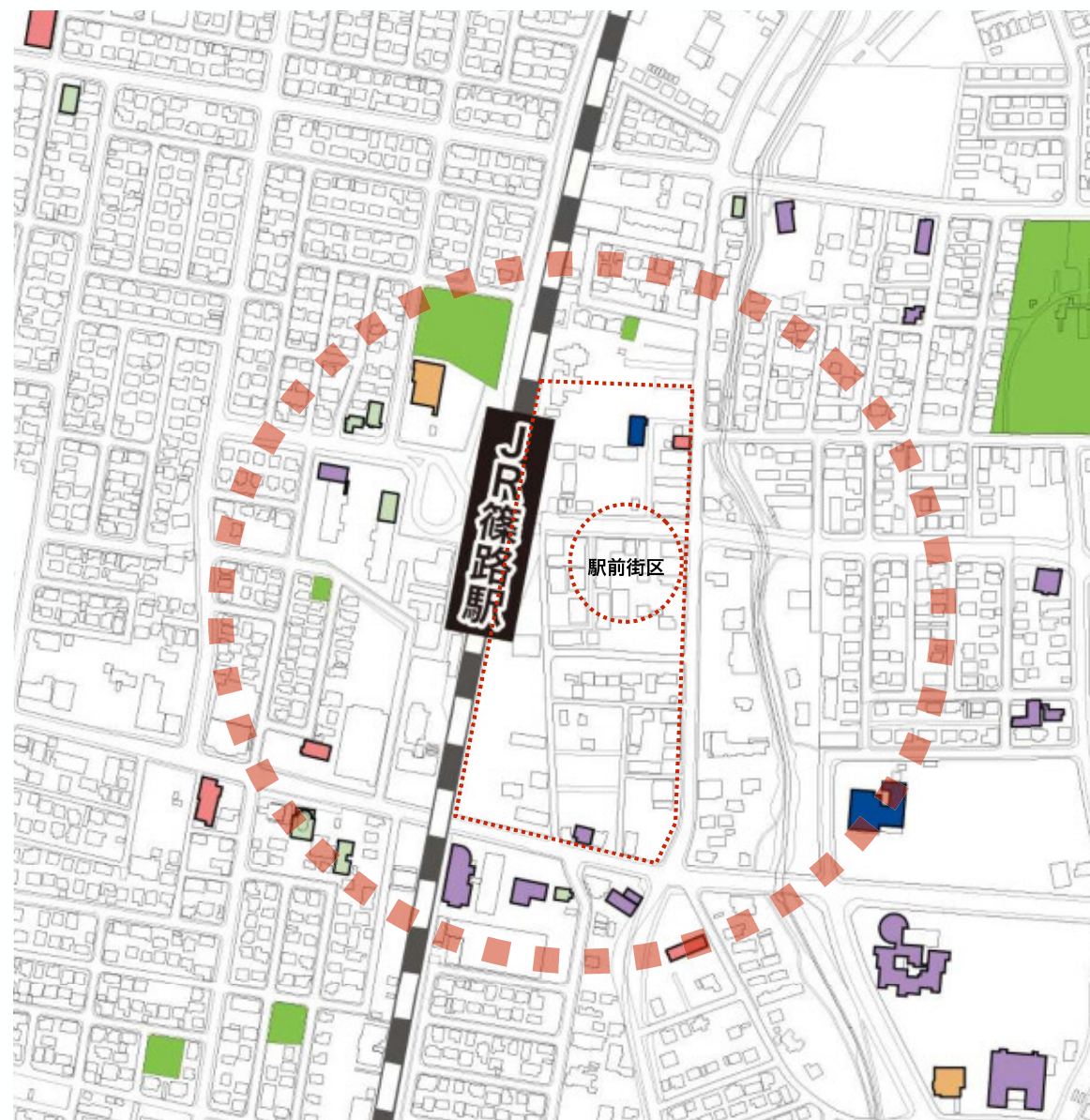
駅前エリア

【現況・課題】

- 篠路出張所・駅前郵便局などの生活利便施設が立地
- レンガ倉庫などの魅力的な地域資源が存在する
- 商店街はあるが、日常的に立ち寄れる店舗が少ない
- 基盤整備進行中に伴い、低未利用地が多い
- 西側に比べて暗い印象

【アンケート結果より求められる機能】

- 買い物環境の充実
- 高齢者に優しい環境づくり
- 子育てしやすい環境づくり



3 まちづくりの方向性（たたき台）

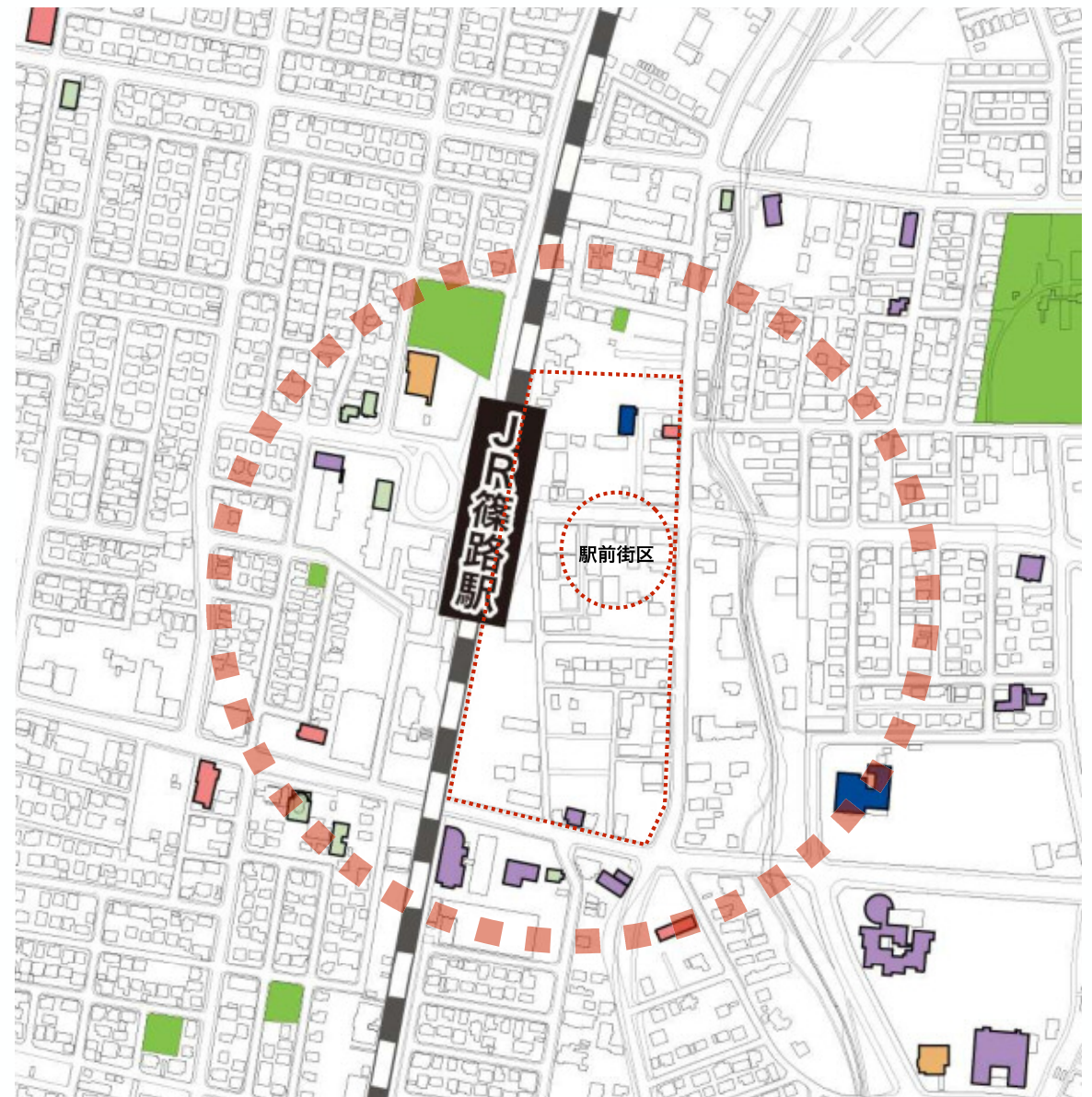
駅前エリア

【必要な視点】

- 基盤整備に伴い創出される新たな空間の活用（駅前広場など）
- 駅前としての魅力の向上

【望ましい機能】

- 駅利用者の更なる利便性の向上（買い物施設など）
- 日常的な交流施設



3 まちづくりの方向性（たたき台）

東エリア

【現況・課題】

- エリア内には福祉施設が多く立地
- エリアの内外に小学校や保育園など周辺には教育施設が立地
- 幹線道路沿いに比較的大型の店舗が立地
- 篠路コミュニティセンターやパークゴルフ場は多くの地域住民が利用
- 車利用により比較的広域からアクセスが可能



3 まちづくりの方向性（たたき台）

東エリア

【アンケート結果より求められる機能】

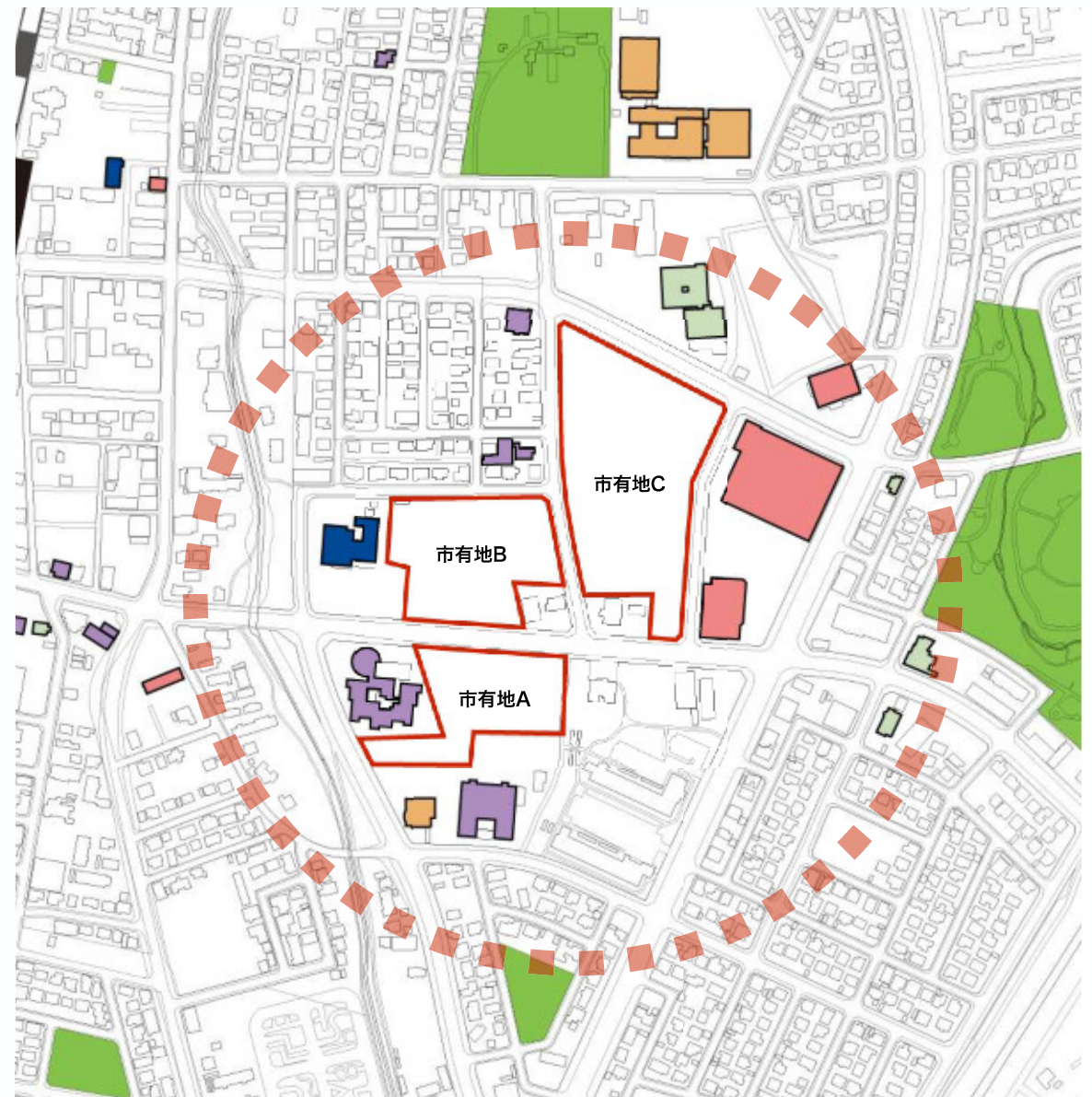
- 子育てしやすい環境づくり
- 買い物環境の充実
- 高齢者にやさしい環境づくり

【必要な視点】

- 既存の環境への配慮

【東エリアに求められる機能】

- 休日などに家族で訪れられる施設
- 若い世代を呼び込む施設



3 まちづくりの方向性（たたき台）

地区の活動、イベント



3 まちづくりの方向性（たたき台）

まちづくりの方向性（たたき台）

駅前エリアの まちづくりの方向性

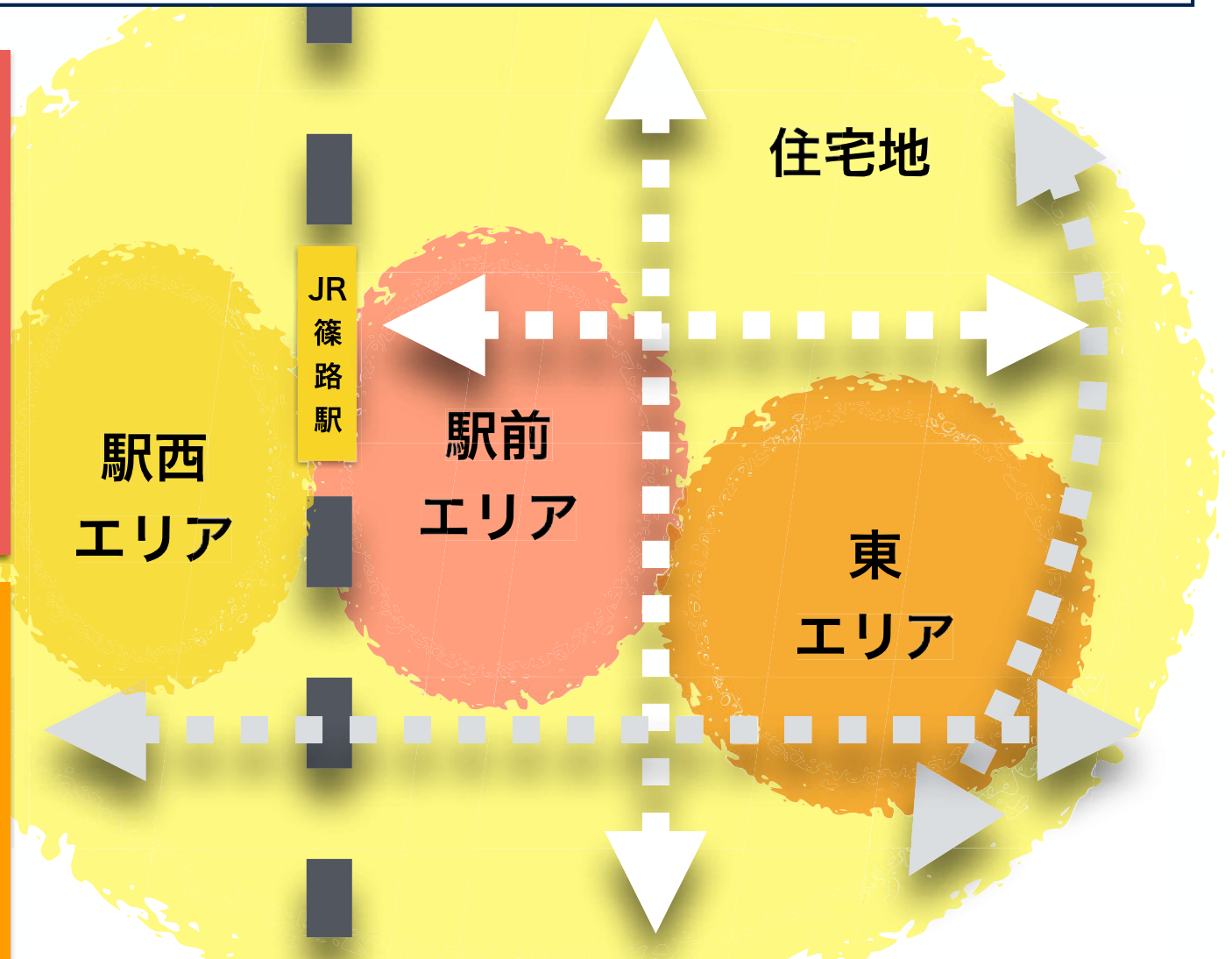
交流・滞在が可能な
環境づくり

駅周辺の
利便性・魅力の向上

東エリアの まちづくりの方向性

住みたくなる・住み続けた
くなる機能の獲得

周辺環境との連携・調和



様々な活動で地域全体のまちづくりを支える